

Vol.55

第2562回例会

No.15

令和7年12月2日

■会長の時間

会長 竹村 克二

皆さんこんにちは、今日は年次総会の日です。指名委員会が推薦された次年度会長、幹事、SAA エレクトの選任と、次年度理事会の理事の選任をお願いします。指名委員長の水田さんには随分とご苦勞いただきましたが、次々年度、次年度の南ロータリークラブの体制充実のため、ご審議をよろしく願います。

12月 は疾病予防と治療月間です。基本的医療を受けられない人が世界で4億人いるといわれています。病気の蔓延や医療不足に悩む地域社会に、仮設クリニックや献血センター、研修施設を作ったり、医師と患者と政府が協力できるインフラを設計するなど、世界中のロータリー会員は、人びとがより良い医療を利用できるよう支援しています。

マラリア、HIV／エイズ、アルツハイマー、多発性硬化症、糖尿病、ポリオなど、人びとを苦しめる病気の予防・治療や患者の支援に当たっている会員も大勢います。衛生教育のほか、無料の定期健康診断や眼科・歯科検診も行っています。

病気は何もせずに予防できるものではありません。命にかかわる病気の蔓延を食い止め、予防を徹底させるために、私たちロータリー会員は、医療従事者への研修、病気や衛生習慣に関する市民への指導など、世界で毎日、数百ものプロジェクトを実施しています。これらを助け、ロータリー財団は世界各地のプロジェクトや活動に補助金を提供しながら、疾病の予防と治療に力を注いでいます。

一方で、日本は国民皆保険制度のもと、国民全員が、平等に高度の医療を受けることができます。高額医療費制度により、一定以上の医療費負担は国の補助を受けることができます。検診、予防接種も国や企業の補助を受け手軽に受けることができます。

このように恵まれた環境の中で、健康で豊かな生活を守るための医療を、我々は空気や、水のように、ごくあたり前のことであるかのように錯覚してはいないでしょうか。

今、日本の医療は大きな曲がり角に差し掛かっています。医療を維持するためには膨大な資金と労力が必要です。高齢者人口の増加による医療費の増大に対し、国は医療費の抑制に努めています。その結果、人件費、物価の上昇に見合う医療費が支払われないため、今はほとんどの病院が赤字経営に苦しんでいます。

野党は国民の医療保険を含む社会保障費の負担軽減を要求しています。一方で国は、医療財源を確保するために苦勞しています。赤字の医療機関が増え続けている現状では、診療報酬は増やすしか道はありません。高齢化に伴う医療費の自然増は続いています。これに加えて、医療保険料の負担が減らされれば、投入すべき税金はさらに増えることとなります。そこで、国は、医療費の増大を抑えるため、OTC薬品類似の医薬品について、保険診療からの排除を狙っています。OTC薬品、すなわち湿布薬、風邪薬、胃薬等々、ふつうに薬局でも売っているものと同等の医薬品は医療保険から外して、自分で買ってもらおうという制度です。

当たり前の話のように聞こえますが、考えてみてください。慢性疾患で長く通院しなければならない患者さんの薬が、突然医療保険で使えなくなったら、年間の医療負担は格段に増加します。減った医療保険負担の何十倍もの負担増になります。

そればかりでなく、腰が痛かったり、胃が痛かったり、風邪をひいたり、医療機関を受診しても薬もくれないで、薬は薬局で買ってくれと言われて帰されたら、誰も医療機関にかからなくなります。しかし、腰の痛みや胃の痛みにもいろいろな疾患が隠れていることがあります。風邪も同様です。風邪は寝ていても治る病気ですが、市販薬で我慢しているうちに、肺炎まで進んでしまえば命にかかわることもあり得ます。咳の原因が風邪ではなく、肺がんであったということもあります。

今年度は何とかこの企みは否決されましたが、今後繰り返し、この企ては繰り返されると思います。

誰でも気軽に医療機関を受診でき、重大な病気も早期に見つけることができる。というのが、今の日本の医療のもっともすぐれている点です。そうした今の医療制度を変えようとする計画は今後も繰り返し、試みられていくと考えられます。

労働力の問題も同様です。日本の医療は医療に従事する人たちの献身的な努力によって支えられてきました。わたくしも40歳台まで、土日の休日なし、1日12時間労働の職場環境で、残業手当の支給もない日雇い公務員として働いてきました。今、働き方改革の実施を迫られる中で、医師の労働力不足が大きな問題となっており、これまでの医療体制の維持ができるかどうかの瀬戸際にあります。

盤石と思われる大地も時間の経過とともに浸食され、風化していきます。我々の医療も同様です。財政の確保、労働力の確保、その努力を怠れば、今の医療体制はすぐに崩壊してしまいます。崩壊した医療制度を元に戻すのは至難の業です。イギリスの医療制度はサッチャー政権の下で一度崩壊しました。その後、幾度かの修復がなされましたが、35年以上たった今も、あるべき医療制度には復していません。

当然のことながら、日本の医療はロータリーの支援の対象外です。我々の医療は我々自身で守っていくしかありません。医療の風化を防ぐため、自分の健康を守ってくれる制度を守る努力は日本国民の責任でしていかなくてはなりません。

■幹事報告

幹事 小林 大二郎

1. 理事役員会関係

- ① 鹿屋西との友好関係の延長について2026年3月22日から2031年3月21日までの5年間の有期契約とする。
- ② 新会員（松浦氏）の委員会及び炉辺Gについて例会親睦委員及び第3Gの所属とする。
- ③ おとのわ協賛金について例年通りとする。
- ④ 発達凸凹さんフェスタについて後援する。
- ⑤ 米山・財団の寄付状況について報告がなされた。

2. 国際大会関係

登録についてサポートが必要な方は申し出ください。12/4、8、9、11で対応します。現在のお支払額は74,100円です。必要な情報は以下の通りです。

- ① 緊急連絡先
- ② クレジットカード情報
- ③ MyRotary 登録状況

3. 今後の情報

- ① 12/14 クリスマス例会

今週の 情報	本日のプログラム	12月9日 卓話
	次会のプログラム	12月14日 クリスマス家族会

■総会議事録(抜粋)

- 1.日時 2025 年 12 月 2 日 レンブラント町田 (例会時に開催)
- 2.参加者 会員 39 名
- 3.議長 竹村 克二会長
- 4.議題

(1) 前年度会計報告 議長 竹村 克二
第 2552 例会にて詳細報告がされているため、議長よりその旨の説明があり賛成多数により承認された。
(2) 次年度 理事 役員の承認
会長が経緯を説明し、指名委員長より次年度の理事役員の候補者が発表された。
会長 江田 昌弘
幹事 若林 美佳
会場監督 森泉 朋子
副会長 岩本 勉
会長エレクト 藤原 新一

- 副幹事 雫田 直輝
副会場監督 中村 文子
会計 小林 大二郎
会計監査 芥川 良
理事常任委員長 栗林 一郎 (クラブ管理運営委員会)
理事常任委員長 市川 孝幸 (クラブ広報委員会)
理事常任委員長 中村 好孝 (会員組織委員会)
理事常任委員長 黒河内 彰子 (基金プログラム委員会)
理事常任委員長 青木 亜也 (奉仕プロジェクト委員会)
直前会長 竹村 克二 (クラブラーニングファシリテーター)
議長が、その賛否について会員に拍手で賛成の意を表することを求め拍手多数で承認された。
(3) 定款・細則改正実行委員会
議長より定款変更に伴う細則の見直しが必要な旨について説明がなされ、当該実行委員会の立ち上げについて会員に諮ったところ、賛成多数により承認された。

■例会の様子



■慶祝

- 誕生日記念祝(ご本人)

12月 9日 西生 篤 君
12月 15日 三枝 富博 君
12月 18日 徳久 京子 君
- 入会記念日

12月 16日 黒河内 三郎 君 昭和45年
- 結婚記念日祝

12月 6日 足立 旬一 君

■本日のスマイルBOX

- 竹村 克二 君・小林 大二郎 君・黒河内 彰子 君
★本日の年次総会宜しくお願いします。
西生 篤 君
★プレゼントありがとうございます。年々プレゼントは減るのでうれしいです。また今日は卓上カレンダーを持ってきましたのでよかったらお持ち下さい。
- 足立 旬一 君
★12月 6日 27 回目の結婚記念日です。お祝いありがとうございます。
江田 昌弘 君・若林 美佳 君・森泉 朋子 君
★本日、指名承認いただけた江田年度理事役員の方々 1 年半の間よろしく願いいたします。

■本日のスマイル 14,000円
■累 計 533,360円

□出席報告：出席委員会 12月2日			会員数	出席	メイクアップ	合計	出席 (%)	欠席
前々回 第 2560回 11月 8日	当日		55 (54)	51	0	51	94.44	3
	修正		55 (54)	51	1	52	96.30	2
第 2562回 12月 2日	当日		55 (50)	39	1	40	80.00	10

11月8日(修正) 完全欠席=三枝、宮崎

第2562回(今年度第15回)例会 食事ロス	0円	現在までの通算食事ロス	59,400円
------------------------	----	-------------	---------

会報委員長 芥川 担当委員 伊藤(清) 中村(文) 市川 三枝 佐藤 杉崎 関 中村(辰) 西生 岩本